

# 令和6年度 第4回 関東地方整備局事業評価監視委員会 議事録

## 審 議

### ■再評価案件（重点審議案件） 再評価対応方針（原案）の説明・審議

・茨城港 常陸那珂港区 国際海上コンテナターミナル等整備事業

（上記について、事務局から資料により説明）

○久保田委員長 ありがとうございます。

それでは、委員の皆様、ただいまの御説明につきまして、御質問、御意見などがありましたら、何らかの方法で意思表示をお願いいたします。

若井先生、お願いします。

○若井委員 10 ページでしたかね、荒天日数の適切な設定というところが、この労基法への対応というのは、それは分かりますけど、これは見直し前と見直し後で荒天日数が大幅に増えているのは、これは見直し前はちょっと荒天日数が実態に合わないような日数で算定していた、これがそもそもがこの数字が悪くって、それを実態は本当は 143 であった。これが本質でしょうかね、労基法というよりは。

○事務局 そうですね。おっしゃるとおり、実働日数が 114 というのが、若干古いルールに基づいて出されておりました、改正労基法、働き方改革の推進という流れの中で、このタイミングでしっかり実態に見合った実働日数にしまして、しっかり、その分、工期を確保する必要が生じているというところの改善でございます。

○若井委員 荒天日数が年々いろんな気候の問題かよく分かりませんが、それ自体が増えているからというのが動機になっているわけではないということか。

○事務局 そうですね。荒天日数についても、状況は5年ごとに検証をしております、そのときの荒天日数の5年間の標準的な日数を適切に設定をしているところでございますけども、それらが急激に増えてきているというところではございません。

○若井委員 増えてきているということではないわけですか。

○事務局 現状ではそうです。

○若井委員 でも実働日数って基本的には荒天以外のものだから、実働日数何日をセットするというよりは、荒天が何日なので働ける日が、結局引き算すると 114 だったり 85 だったりという、そんな感じかなと思って見ていたのですが、だから荒天の日数をあらかじめ仮定すると、必然的に引き算でなるということではないのですか。

○事務局 そうですね。荒天の割合の設定の仕方を平日と休日とで荒天の発生する割合と、このを今回見直しさせていただきまして、改定の中でですね。実際、平日に荒天が発生しているというところを現実に合わせて、しっかり見直しをさせていただいた結果、実際に荒天日数が 114 から 143 に増えてございまして、実働日数のほうもそれに応じて引かれてしまっているというところでございます。

○若井委員 なるほど。いろんな意味で実態に合わせたということですね。はい、分かりました。ありがとうございます。

○久保田委員長 ありがとうございます。

そのほか、どうでしょうか。特によろしいですか。

〔「はい」という声あり〕

○久保田委員長 もしよろしいようでしたら、お諮りいたします。

ただいま、質問が 1 件ございましたけれども、特に御意見ではないというふうに承りますので、本案件につきましては、継続という判断でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

○久保田委員長 特に御異議ないようでございますので、ただいまの案件につきましては継続というふうにさせていただきます。

ありがとうございました。

■再評価案件（重点審議案件） 再評価対応方針（原案）の説明・審議

- ・一般国道 1 8 号 坂城更埴バイパス（坂城町区間）
- ・一般国道 1 8 号 坂城更埴バイパス（延伸）

（上記について、事務局から資料により説明）

○久保田委員長 ありがとうございます。

それでは、御質問、御意見がありましたら、委員の皆様、よろしく願いいたします。

朝日先生、お願いします。

○朝日委員 御説明ありがとうございました。

すみません。一体評価の見方について教えていただきたいのですが、これは事業としては別々なので、個別のB/Cは参考値のような形になるのですか。どちらの事業も一体評価の1.4がB/Cの正値になって、個別評価のB/Cは参考値のような形になるのですか。個別評価した場合と一体評価した場合で2つB/Cを算出されていますが、どちらが事業の評価として正値になるのでしょうか。

○久保田委員長 お願いいたします。

○事務局 御質問ありがとうございます。

今回の事業につきましては1つの坂城更埴バイパス 19.2kmという計画でございますが、このうちまだ未事業化区間などもあります。その上で、坂城町区間で1つの事業、さらに延伸区間で1つの事業とそれぞれ2つという形になります。

それぞれの事業につきまして、先ほど御説明させていただきましたとおり、0.9と2.1という数字を申し上げさせていただきました。これもその事業としてのB/Cでございます。一方で、計画としては先ほど申しましたとおり、全体19.2kmでございますので、全体としてどうなるかというところを算出すると、1.4という数字になります。

○久保田委員長 よろしいですか。

○朝日委員 はい、分かりました。事業としては一体評価はやるけれども、個別事業としての評価書も一緒になるのですか。

○久保田委員長 どうでしょうか。

○事務局 ありがとうございます。事業としてはそれぞれで事業をしているという形です。事業の着手時期も違っているという状況でございますので、2.1、0.9というものを示させていただいております。

○朝日委員 分かりました。一体評価をする理由は、ここでは分かるのですが、評価書を振り返ったり、事後評価のように将来から振り返ったときに、そこが事業として、坂城町区間と延伸区間に分かれているのはちょっと分かりにくいかなと思ったのですが、承知しました。分かりました。ありがとうございます。

○久保田委員長 ありがとうございます。

そのほか、どうでしょうか。特によろしいですか。

では、よろしいでしょうか。ちょっと私、一つだけ。24 ページに今はBには計算上載らないけれど、その他の効果としてこういうのもあるということを書きいただいているのですが、コスト縮減のほうも、いろいろやっけていただいているわけなので、今後、ぜひ考えていただきたいのは、費用の節約みたいなのをその他の効果と同様にこういうリストに作っていただいたほうが後で見たときに、BもCもそれぞれ実はこういったその他の内容があるというのが分かりますし、今後、B/Cを仕組みとして再検討する際に、それがかなり参考になるのではないかと思いますので、今後、そのようなことを考えていただければと思うのですが、いかがでしょうか。

○事務局 御指摘ありがとうございます。

おっしゃるとおり、効果の部分だけではなくて、コスト縮減のところも、事業としての大きな性格でございます。この辺も合わせて検討させていただきたいと思います。

○久保田委員長 それでは、今後、どうぞ御検討よろしく願いいたします。

では、委員の皆さん、よろしいですか。

〔「はい」という声あり〕

○久保田委員長 それでは、お諮りします。本件につきましては継続という、一体評価ですけれども、この2事業については継続ということによろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

○久保田委員長 御異議ないということでございますので、継続とさせていただきます。ありがとうございました。

審議いただいた3件は以上でございますけど、全体を通して、何か委員の皆様から御発言はありますか。

〔「はい」という声あり〕

○久保田委員長 特によろしいでしょうか。

そうしますと、あとは報告事項となりますので、事務局にお任せしたいと思いますので、私の司会は以上とさせていただきます。ありがとうございました。

○司会 久保田委員長、ありがとうございました。

## ■報告

- ・中川・綾瀬川直轄河川改修事業
- ・利根川総合水系環境整備事業（渡良瀬川環境整備）
- ・荒川総合水系環境整備事業
- ・八ッ場ダム建設事業

（上記について、事務局から資料により説明）

○司会 報告案件についての御説明について、御意見、御質問等ございましたらお願いいたします。

○清水委員 すみません、東商の清水なのですけど、よろしいですか。

○司会 はい、お願いいたします。

○清水委員 1点質問で、1点はお礼でございます。

質問なのですけれども、河川のほうのB/Cというのは、例えば、一つ目に御説明いただいたものというのはすごい高い数値だと思っているのですけれども、改良工事なるものというのはこういうものなのでしょうかというのが、すみません、よく分からないので、これは質問です。

2点目は、最後に八ッ場ダムの御説明いただきましたけれども、今年4月に、実際、私どもも小林会頭と一緒に視察をさせていただきまして、先ほど御説明いただいたような内容を含めまして、首都圏が本当に守られているのだなということを勉強させていただきまして、改めてこれは御礼でございます。

以上です。

○事務局 いただきました質問について御回答いたします。

河川の場合は、整備を実施したことによって氾濫の被害が減った部分を便益に置いていることがございまして、特に関東圏におきましては、人口が集中しているということがございますので、B/Cが10を超えるといった水系もございます。ただ、今回の46という

のは比較的大きな数字であるというふうには認識してございます。

○清水委員 ありがとうございます。

荒川のほうも結構環境整備事業で 14.6 というような数字が出ていると思うのですが、これもやっぱり数字が高くなったりするものなのでしょうか。

○事務局 御質問ありがとうございます。

環境整備事業については、便益についてはCVMを用いて算出しております。事業によって数値は様々ですが、荒川で算出している 14.6 について、2桁のB/Cが出るということは、他の事業でもそれなりにございます。

○清水委員 分かりました。ありがとうございます。

○司会 そのほかはございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「はい」という声あり〕

それでは、以上をもちまして、本日の議事内容が終了いたしました。

本日御審議いただきました内容については、委員長に御確認いただいた後、速やかにホームページにて公表する予定です。

また、議事録については、事務局で取りまとめ、委員の皆様への御確認を得た上で、ホームページにて公表いたしますので、よろしくお願いいたします。

その他、何かございますでしょうか。

それでは、こちらをもちまして、令和6年度第4回関東地方整備局事業評価監視委員会を閉会とさせていただきます。

本日は、長時間にわたり御審議、誠にありがとうございました。

閉 会